

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
体育科教育法	講義	2	吉井 英博
【授業のテーマ及び到達目標】 小学校における体育授業の現状や授業実践を通して、小学校体育の授業づくりに係る基礎的な資質・能力を養う。 到達目標:安全かつ効果的な体育授業を計画・実践・評価するための基礎的な知識・技術の習得およびそれらを活用した教材研究、授業実践、適切な評価の観点と方法を理解する。			
【授業の概要】 次期学習指導要領の改訂に即したテキストを使用しながら、小学校体育の目標および指導内容を各指導領域の指導方法、評価規準・評価基準に関する知識と技術の習得を行う。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス、学校体育の現状、小学校体育の指導内容			
2. 学習指導要領における学校体育と社会体育の位置づけ、小学校体育の目標			
3. 小学校体育における教材づくり、学習指導法、評価の方法			
4. 小学校体育における単元計画と学習指導案の作成			
5. 集団行動および体づくり運動の理論と実践			
6. 小学校体育における陸上運動の理論と実践			
7. 小学校体育における水中運動の理論と実践、安全管理			
8. 器械運動の理論と実践			
9. ゲーム・ボール運動の理論と実践			
10. 個人による陸上運動、器械運動領域の学習指導案の作成			
11. 個人による陸上運動、器械運動領域の学習指導案の作成に基づいた模擬授業			
12. グループによる ゲーム・ボール運動領域の学習指導案の作成			
13. グループによる ゲーム・ボール運動領域の学習指導案の作成に基づいた模擬授業			
14. 授業における安全管理と応急処置(簡易手当からBLS)			
15. 本講義のまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:次時の授業計画について、テキスト2種類を読み確認しておく。			
学習のあり方:テキスト①を主に活用する。			
復習のあり方:授業で取り上げた内容や配付資料を整理し、ポイントを確認しておく。			
【成績評価】 受講態度(40%)、学習指導案等提出物(30%)、模擬授業(30%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 毎授業ごとに提出するリフレクションカードで自己評価を行う。また、リフレクションカード返却時に講師からのコメントを添えて返却し、学びの客観的評価を行う。			
【テキスト】 ①『アクティブ・ラーニングのための体育科教育法:理論と実践』 吉井英博・矢野正 三恵社 ②『小学校学習指導要領解説 体育編』 文部科学省 東洋館出版社			
【参考文献】 『新版 体育科教育学入門』 高橋建生ほか 編著 大修館書店			